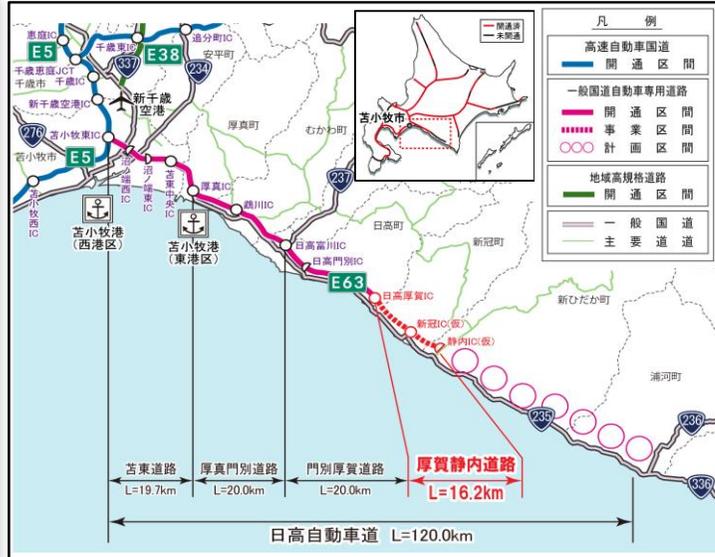


## 日高自動車道(厚賀静内道路)の工事を進めています！

日高自動車道は、苫小牧市を起点とし、浦河町に至る延長約120kmの自動車専用道路です。高速ネットワークの拡充による近隣都市間の連絡機能の強化を図り、地域間交流の活性化及び、国際拠点港湾苫小牧港や拠点空港新千歳空港等への物流の効率化等の支援を目的としています。

現在、厚賀ICから静内IC(仮称)に至る厚賀静内道路(延長16.2km)について早期開通を目指し、建設を進めています。



### 節婦川橋上部工事



上部工が“やじろべえ”のように張り出しており、刻々と変わる姿が国道脇からも良く見えます。脇見運転で事故を起こさないようご注意ください！

### 高江東改良工事



新冠IC(仮)手前では仮道を作って国道の通行を確保し、ボックスカルバートを施工しています！

### 節婦改良工事



大節婦川橋周辺の橋台やボックスカルバートを製作し、盛土工事が進んでいます。

### 大狩部トンネル工事



トンネル工事もいよいよ大詰め。トンネルの顔である「坑口」の施工を進めています！

# 日高道の工事を進めるに当たって！！

## ICTの活用

厚賀静内道路では建設現場の生産性向上を図るため、調査・測量から設計、施工までのあらゆる建設生産プロセスでICT機器を活用してi-Constructionの取組を進めています。

### ドローン測量とICT掘削



ガイダンス画面で掘削位置をオペレータに指示！

ドローンを使った測量やマシンガイダンス技術を活用し、大規模な土工作業の効率化を図っています！

## 現地見学会の実施

室蘭・苫小牧の工業高校の生徒さんや地域の浦河ロータリークラブの皆さんが厚賀静内道路の工事現場を見学されました。

### R2.9.4 苫小牧工業高校の生徒さん



新型コロナウイルス感染防止対策も兼ねて、狭い会議室ではなく、トンネル内でコンクリート壁をスクリーン代わりに説明。参加された方々が真剣に耳を傾けて聞いてくれました。

## 当部担当者から一言

日高自動車道のように大規模な工事では、ちょっとした油断が大きな事故に繋がってしまいます。

そのため、安全施設の設置状況など、日々、細心の注意を払って確認しています。



## トピック！ 白老町

# ウポイがオープンした“街の今”

今年7月、白老町にウポイ(民族共生象徴空間)がオープンして約半年。そこで、オープン後の街の様子などを、白老町の皆さまに伺いました。

## 観光入込客数

ウポイには11月5日現在で約15万9千人が来場しており、白老駅北観光インフォメーションセンターも10月には来場客数が10万人を越えました。秋季のウポイは修学旅行での来場が大半を占めておりますが、新型コロナウイルス感染症が収束した後は、インバウンドをはじめ、多くのお客さまの来場を期待しています。

白老町の新たな観光情報発信拠点「白老駅北観光インフォメーションセンター」



※インフォメーションセンターを含め周辺ゾーンは「ポロミントラ」の愛称で親しまれ、観光客だけでなく、町民が集う場所にもなっている。

## 経済効果・人気商品等



インフォメーションセンター内の売場

ウポイ開設後に町が実施した観光客の消費動向調査結果によると、道外からの観光客比率が増加していますが、来町前に使用を考えていた金額に対し、実際に消費した金額が少ないという傾向にあり、特に宿泊客についてギャップが大きいことから、お土産品等の魅力発信と購買機会の提供策に検討が必要と考えています。白老駅北観光インフォメーションセンターにおいて人気のお土産品は、サブレやラスク、アイヌ文様が刺繍やプリントされた商品、ムックリ(口琴)などがあります。

## 町の取組・町内の賑わい創出

町では1乗車100円で町内を巡ることのできる「交流促進バス」を運行しています。現在はコロナ禍にあって自家用車の利用が多いことからバスの利用は少ないものの、大町商店街など町内各地への人の流れを期待しています。

### 交流促進バス



ウポイの開業効果は町内の賑わいの創出にもつながっており、新規創業・事業拡大や、中学生による観光パンフレットの制作などといった効果が現れています。また、オリンピックの聖火リレーのルートにもなっており、更なる盛り上がりも期待されます。

白老町内中学校作成のパンフレット



## 情報発信

白老観光協会と業務提携して、街のホットな話題を発信している“観光情報ブログ「しらおいナビ」”を運営している“ともこさん”にお話を伺いました。



始めたきっかけは自分のお気に入りのカフェが大手飲食店紹介サイトに掲載された時、ロコミの中で「店員さんの説明がわからなかった」と書かれたことです。その店員は障害者就労支援で派遣されていた方で、お店が社会貢献しているのに、お客さんや社会にマイナスイメージが広がるのでは？と思ったからです。第三者の視点(自分目線)で感動したことやオーナーの熱い思いを書けばマイナスイメージを払拭できる、と思って始めました。コンセプトは“あったかいこと”を大切に、自分が気に入ったものや、珍しいものを取り上げています。ゴールはありませんが、掲載したお店などからも喜ばれ応援や励ましをいただき、地域づくりの一つのツールになればと思っています。閲覧者の反応も良く、“おばちゃん視点”でこれからも続けていきます。

(2019.5月から始め2020.10月には2.98万PV、ユーザー数は約1.15万人) →「しらおいナビ」を検索



## 北海道総合開発計画 ～価値創造力の強化に向けた多様な人材の確保・対流の促進～

人口の減少時代にあっては、「人」こそが資源。多様な人々の緩やかな「つながり」。コミュニケーションの「ひろがり」を促進し、地域間交流の促進、地域づくりの人材の発掘・育成を進めます。